

YUHIKAKU



有斐閣・出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 <http://www.yuhikaku.co.jp/>

※表示価格は税込です。

アジアを知れば、日本がわかる！

(2月中旬発売予定)

もりもとかずひこ ひらいしょうこ おちあい えみ こ
森本一彦・平井 晶子・落合恵美子 編

高野山大学教授・神戸大学教授・京都大学教授

家族イデオロギー

リーディングス アジアの家族と親密圏 第1巻

A5判上製カバー付
460頁
予価6,930円(税込)
978-4-641-17468-9

アジアの9社会(日本、韓国、中国、台湾、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ、インド)の貴重な論文を精選。第1巻では各国の家族が国家の統制により創られた過程を、親族構造や家父長制、儒教化などの文明化、近代化を通して明らかにする。

《主な目次》

序論(森本一彦)

【第I部 家族イデオロギー——伝統・国家・個人】

◇I-1 伝統的家族 1. 初期インドにおけるパラモンの家父長制を概念化する/2. 服忌令から見た近世の親族関係/3. ベトナムの伝統的家族と儒教の影響 ◇I-2 国家と伝統の創造 4. 民法出アテ忠孝亡ブ/5. 家名(ナムサクン)と姓(セー)の比較/6. 国家イブイズム ◇I-3 民主化・核家族・個人化 7. 日本社会の家族的構成/8. 血縁集団から市民化へ/9. 朴正熙体制下における「核家族」言説の変遷と二元構造

【第II部 家父長制と父系制——家とは何か】

◇II-1 系譜制の源流 10. 種子と大地/11. 『風土記』の女を読む、『魏志』倭人伝の“女”を読む/12. 日本古代社会の婚姻形態と血縁構造/13. 明清期における異姓継承/14. ベトナム南部における伝統的家族の変容 ◇II-2 父系化の展開 15. 先祖祭祀と家の確立/16. 近世東北農村における「家」の確立/17. わが国近世の家族における家父長的支配/18. 烈女の誕生/19. 「家名(ナムサクン)」の起源と君主としてのラーマ6世の役割 ◇II-3 系譜制の現在 20. 家族の変化と先祖祭祀/21. 家族とは誰のことか

伝統と新しい展開の現在地

(2月中旬発売予定)

ひらいしょうこ おちあい えみ こ もりもとかずひこ
平井 晶子・落合恵美子・森本一彦 編

神戸大学教授・京都大学教授・高野山大学教授

結婚とケア

リーディングス アジアの家族と親密圏 第2巻

A5判上製カバー付
510頁
予価6,930円(税込)
978-4-641-17467-2

第2巻は、結婚とケアのあり方が親族構造の影響や、西欧との出会いと近代化、さらにグローバル化によりいかに変容してきたのかを描き出す。恋愛結婚イデオロギーや近代家族、伝統の再解釈、未婚化や国際結婚など、アジアの多様性と共通性が見えてくる。

《主な目次》

序論(平井晶子)

【第I部 結婚——愛と戦略】

◇I-1 西欧との出会い 1. 私の心はあなただけのために/2. 日本の離婚/3. 近代の結婚式はこうしてできた ◇I-2 伝統の再解釈 4. 怒り、ためらい、哀れみ/5. 婚姻の開始と成立 ◇I-3 変わりゆく結婚・持続する伝統 6. 婚姻給付の移り変わりと姻戚間の力の均衡/7. 中国における配偶者選択の基準/8. ベトナム红河デルタにおける結婚後の夫方居住とその規定要因/9. 地域横断結婚/10. 東アジアと東南アジアの国際結婚/11. あこがれの結婚式

【第II部 ケア——子育てと介護】

◇II-1 歴史の中のケア 12. 江戸の捨て子たち/13. 日本近世の高齢者介護と家族 ◇II-2 子育ての多様な担い手 14. 韓国における核家族の母親の育児とブマシ育児/15. 「タガサロ」または「マナナロ」症候群/16. 両親から離れて育つ/17. 中国における幼児期の発達に関する家族政策1980-2008 ◇II-3 介護する人/される人 18. 他者の負担になること/19. 息子家族による老親ケア/20. 介護する意識とされる意識/21. データが示す男性介護者/22. 大事なのに顧みられない人たち

YUHIKAKU



有斐閣・出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 <http://www.yuhikaku.co.jp/>

※表示価格は税込です。

アジアの重層的多様性

(2月中旬発売予定)

おちあい えみ こ もりもと かずひ こ ひらい しょうこ
 落合恵美子・森本一彦・平井晶子 編

京都大学教授・高野山大学教授・神戸大学教授

セクシュアリティとジェンダー

リーディングス アジアの家族と親密圏 第3巻

A5判上製カバー付

502頁

予価6,930円(税込)

978-4-641-17469-6

第3巻はアジアのセクシュアリティとジェンダーのあり方を鍵として、東アジアと南アジアを中心とする父系的社会と、東南アジアから日本・韓国までの双系的社会という2つの社会を区別し、それに文明化と近代化が重なる、アジアの重層的多様性を明らかにする。

〈主な目次〉

序論 (落合恵美子)

【第I部 セクシュアリティ— 2つのアジアと1つの近代】

◇I-1 2つのアジア 1. カーマストラを解読する/2. 朝鮮後期における妾と家族秩序/3. タイの性愛文化におけるヨバイの伝統/4. 百歳女性のライフヒストリー ◇I-2 性と愛の近代 5. 性と愛をめぐる論争/6. 植民地朝鮮における新女性、セクシュアリティ、恋愛/7. 「爆弾」としての婚外性交渉 ◇I-3 セクシュアリティの現在 8. レイプ、懲罰、国家/9. 男性ピンナップ、GRO、マッチョ・ダンサー/10. 北京におけるゲイ・コミュニティの実態調査

【第II部 ジェンダー— 葛藤と実践】

◇II-1 伝統の重層性 11. 仮面と素顔/12. 「男性の概念」とは何か/13. 女性・神学・暴力/14. 江戸時代は女性にとって暗黒の時代か ◇II-2 近代的性役割の成立と変容 15. 良妻賢母思想の成立/16. アメリカ植民地教育はフィリピン女性の地位をどう変えたか/17. 男性性を作り直す/18. 最後の伝統的な姑 ◇II-3 アジアのフェミニズム 19. 女にとって産むこと産まぬこと/20. 韓国家族法における男女平等 対「伝統」/21. 語られない秘密/22. 「被害者化」を超えて

